

2024 しおじり森林塾（基礎編）（活動報告）



令和6年10月5日（土）及び令和6年10月12日（土）

参加者：3名（市在住の方）、特別講師1名、ボランティアスタッフ2名、公社職員3名

一般社団法人塩尻市森林公社

☆山づくりの基礎的な技術と知識の習得

☆山づくりの楽しさや面白さや魅力、やりがいの伝達

☆参加者同士の情報交換コミュニティの場づくり

☆森林施業者の裾野拡大（多様な担い手の育成・確保）

等を目標に、しおじり森林塾（基礎編）を塩尻市森林公社 宗賀（本山）ステーションにて開催しました。

一日目

1、座学

チェーンソーの基本的な知識から構造まで、実際にチェーンソーで示しながら、講師が説明をします。



2、玉切り練習

上から、下から、さまざまな切り方で、玉切りの練習をします。



3、受け口・追い口づくりの練習

はじめは、方向を気にせずに受け口を作ります。そして、ポールを使い、ポールの方に受け口が出来ているかを確認しながら、受け口・追い口づくりを反復練習します。

受け口がポールの方に向いていない場合は、講師や公社職員が修正を促します。



4、森林調査

テープで囲った正方形の調査地に何本の木が植生しているか、植生している樹種は何か、胸高直径はどのくらいかなど、林内の調査を行います。

その後、調査を基に、何本切ればよいのかなどを考えます。



二日目

5、伐倒

伐倒に入る前に一日目の復習練習を行い、森林調査を行った森へ入り選木します。

根張りを最初に落とし、狙った方向へ受け口・追い口を作ります。受け口を作ったら、講師が方向を確認し、少しずつ修正をしていきます。

伐倒後は、自分の作った受け口・追い口が正しくできているか、つるは残っているかなど反省をして、次の木を倒します。



6、チェーンソーの目立て

全ての作業が終了したところで、目立てを行います。

目立て後は、チェーンソーの刃が切れるかどうかを玉切りをして出た木くずを見て、確認します。



参加者の感想

- 知らないことばかりで2日間とても勉強になった。
- 10m以上の木を倒すのは初めての体験だった。
- 今後も学んだことを活かし、基本に気を付けてチャレンジしていきたい。
- 無事に木を倒すことができてうれしかった。
- 手元で1°ずれると大きくずれてしまうことが体験できてよかった。